

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. DMA1 V5 900

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種: CX-30 1.8D/T (3DA-DM8P)

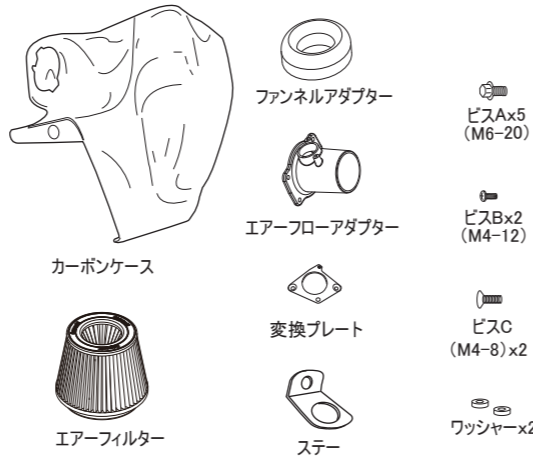
※製品ご装着前に必ず弊社ウェブサイトにて適合車種、グレード(最新情報)をご確認ください。



警告

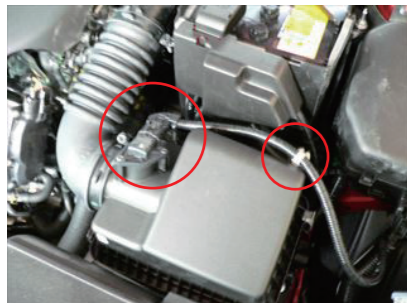
- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ株発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、カーボンケースとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、カーボンケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST



装着手順

注)ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取付けてください。



1.エアフローセンサーコネクタとエアフローセンサーの配線留めを外します。エアホースクランプを緩めます。



2.エアークリーナーカバーをエアホースから外し、エアークリーナーエレメントを取外します。



3.フレッシュエアダクトを固定しているボルトを取外します。



4.フレッシュエアダクトとエアークリーナーケースを一体で取外します。



5.エアークリーナーカバーからエアフローセンサーを取外します。



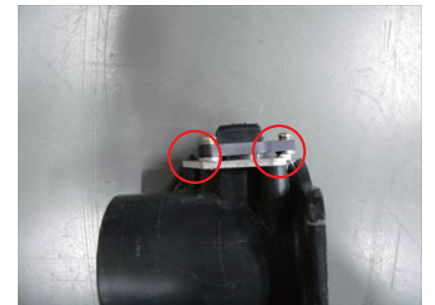
6.エアークリーナーケースからフレッシュエアダクトを取外します。



7.エアークリーナーケースからゴムブッシュを3か所取外します。



8.ビスC×2を使用して、エアフローアダプターに変換プレートを取付けます。



9.エアフローアダプターにワッシャーを挟み、ビスB×2でエアフローセンサーを取付けます。



10.カーボンケースにビスA×1を使用して、ステーを取付けます。ステーの向きは写真を参考にしてください。



11.カーボンケースとステーに取外したゴムブッシュを取り付けます。



12.ファンネルアダプターとエアフローアダプターをカーボンケースを挟み込むようにビスA×4で固定します。



13.ファンネルアダプターにエアフィルターを取付けます。ケース横のサービスホールでバンドを締めつけ固定します。



14.フレッシュエアガイドをカーボンケースに取付けます。



15.カーボンケースを車両にステーを調整しながら配置します。ゴムブッシュがしっかり車両側の凸部に刺さっている事を確認してください。



16.エアホースをエアフローアダプターに差し込みホースクランプを締めこみます。



17.フレッシュエアダクトを取外したボルトで固定します。



18.エアフローセンサーコネクタを差し込み、エアフローセンサーの配線留めをカーボンケースに取付けます。カーボンケースとバッテリーのクリアランスが狭い場合はバッテリーを奥側にずらしてください。